

代表質疑（令和8年3月定例議会）

（令和8年2月27日）

3番 佐藤 弘 議員

1 令和8年度市長施政方針について

- (1) 市民一人ひとりに「居場所」と「出番」がある社会を実現する
- (2) 大学・高校と共につくる「ひと」と「まち」
 - ① 東北公益文科大学の地域課題
- (3) 公益の心を持ち明日をひらくこどもたちを育むまち
 - ① 学校統合ビジョン懇話会の開催
 - ② 酒田市教育相談室の機能拡充
 - ③ 通信環境の整備を強化する
- (4) 「港」発の交流で賑わうまち
 - ① クルーズ船受入れ体制の構築

17番 佐藤伸二議員

1 令和8年度市長施政方針について

- (1) 未来を担う人材が豊富な酒田
 - ① 婚活イベントの企画運営
 - ② 東北公益文科大学の公立化による本市の影響
 - ③ 子育て世代の経済負担軽減とICT環境の整備

- (2) 地域経済が活性化し「働きたい」がかなう酒田
 - ① 酒田市沖の洋上風力発電事業の導入
 - ② 儲かる農業で豊かなまち
 - ③ 松くい虫被害を受けた防風林の再生

- (3) ファンが多く移住者・定住者・観光客が増加する酒田
 - ① 交流でうるおうまち

- (4) 暮らしと生きがいを共に創りお互いが支え合う酒田
 - ① 地域経済を活性化するため

- (5) 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすい酒田
 - ① 地域との連携でつくる安全・安心なまち
 - ② 暮らしの足が維持されるまち

- (6) 都市機能が強化され賑わう酒田
 - ① 高速ネットワークの実現
 - ② 生活インフラが整備されているまち

18番 武田恵子議員

1 令和8年度市長施政方針並びに令和8年度一般会計予算について

- (1) 令和8年度市長施政方針の4つの柱は、令和7年度と軽重は同じなのか
- (2) 令和8年度一般会計予算の特徴は何か
- (3) 「矢口市長らしさ」を問われたら何と答えるのか
- (4) 下水道事業の効率化や経営の安定化はどのように進めるのか
- (5) 吉野弘生誕100年の取組
- (6) 酒田市大火から50年の取組

8番 市原栄子議員

- 1 令和8年度市長施政方針と議第17号令和8年度一般会計予算について
 - (1) 交付税と市税の伸びをどのようにとらえていくか
 - (2) 施政方針の4項目の重点取組に対する具体的な考え方は
 - ① 市民一人ひとりに「居場所」と「出番」がある社会への取組は
 - ア 各年齢層に対する取組は
 - イ やさしい生活支援事業を廃止し、介護保険制度利用への移行は高齢者の活動の幅を狭めるものになるのではないか
 - ② 災害からの復旧・復興について、復旧の目途と被災避難者が元の生活に戻るための取り組みをどのように考えるか
- 2 議第31号酒田市保育所設置条例の一部改正について
 - (1) 在園児の転園状況はどのようになっているか
 - (2) 跡地・建物の活用をどのように考えるか
- 3 議第34号酒田市国民健康保険税条例の一部改正について
 - (1) 県単位化に向けた改正となるが、今まで市民負担をできるだけ抑えてきた市の姿勢を方向転換するのか

9番 大 壁 洋 平 議員

1 令和8年度予算編成と市長施政方針について

(1) 市長3回目の予算編成にあたっての所感と自己評価

- ① 市長として3回目となる当初予算編成を迎えられた所感
- ② 市政運営を振り返り、成果と感じている点、また課題として認識している点
- ③ 就任時に掲げた政策理念や方向性は、どの程度実現に近づいているか

(2) 持続可能な財政運営

- ① 財政の硬直化の対応は
- ② 事業の改善・見直しをどのように行ったのか
- ③ 選択と集中とスクラップ・アンド・ビルドは出来ているか

(3) 学びあい、地域とつながる人を育むまち

- ① 文化芸術振興の市民への落とし込みとまちづくりにどう活かすか

(4) 「おもてなし」があふれ、交流でうるおうまち

- ① 酒田市中長期観光戦略の反省・検証
- ② 交流観光課から観光物産課に変更の業務内容は

19番 後藤 仁 議員

1 令和8年度市長施政方針

- (1) 人口減少の認識
- (2) 豪雨災害からの復旧・復興
- (3) 公立大学東北公益文科大学と連携
- (4) 酒田市美術館の大規模修繕工事
- (5) 洋上風力発電事業の導入
- (6) 若者や女性に有効な認定の取得推進
- (7) 鳥獣被害対策
- (8) 松くい虫被害対策
- (9) 観光で稼げるまちとクルーズ船対応
- (10) 地域医療連携推進室の新設
- (11) 鉄道の利用促進と山形新幹線の庄内延伸
- (12) まちなかランドデザインの具現化
- (13) 庄内広域水道企業団の酒田市としてのメリット
- (14) 下水道事業の広域化
- (15) 全ての職員に「出番」のある市役所